

R7 学校評価(職員自己評価用)

宮城県立支援学校岩沼高等学園 川崎キャンパス

A:よくできている B:だいたいできている C:あまりできていない D:できていない

項目	評価内容	A	B	C	D	回答数	パーセンテージ			
							A	B	C	D
I 学校経営										
・教育目標 ・努力目標	1	学校教育目標は適切に設定されている。				9	44	56	0	0
	2	重点目標は適切に設定されている。				9	11	89	0	0
	3	重点目標は共通理解の下に具現化に努めている。				9	22	67	11	0
	4	学校評価の結果を学校運営の改善に生かしている。				9	11	78	11	0
II 学年・学級・(舎)の経営(8~15)										
・学年経営 ・学級経営	5	共通理解のもと卒業後を見通した進路指導をしている。				9	67	22	11	0
	6	生徒と保護者の願いを受け止め指導している。				9	67	33	0	0
	7	障害の特性を把握し指導内容や指導法の改善に努めている。				9	44	44	11	0
III 教務関係										
・教育課程 ・教育評価	8	教育課程の改善に向けて、組織の一員であることを自覚し取り組んでいる。				9	33	56	11	0
	9	教育課程を実施した結果、生徒一人一人の目標が達成されるとともに成果が上がっている。				9	22	78	0	0
	10	一人一人を大切に、働きかけの工夫をして指導するよう努めている。				9	56	44	0	0
	11	T-Tの効果的な活用に努めている。				9	22	67	11	0
	12	実態にあった教材教具の開発・活用に努めている。				9	56	44	0	0
IV 総務関係										
・庶務関係 ・防災関係	13	学校方針や具体的な教育活動について適切な情報を提供している。				9	11	89	0	0
	14	同窓会活動への支援は活発に行われている。				9	0	44	56	0
	15	PTA活動は有意義に行われている。				9	0	89	11	0
	16	防災教育が適切に行われている。				9	67	33	0	0
V 教育活動										
・学習指導 ・教科指導 ・専門教科 ・総合・自立活動 ・特別活動	17	指導目標達成のために必要な指導内容を十分理解しながら指導にあたっている。				9	33	56	11	0
	18	生徒の興味・関心を喚起しながら、授業を行っている。				9	44	56	0	0
	19	生徒に、働くことの自覚と卒業後の就労定着を目指させるよう指導している。				9	67	33	0	0
	20	日常生活に必要な応用的・発展的な内容を、計画的に指導している。				9	44	56	0	0
	21	基礎・基本的内容を系統立てて指導している。				9	11	89	0	0
	22	職業生活に必要な基礎的な知識・技能を身につけさせるよう指導している。				9	56	44	0	0
	23	職業生活に必要な実践的な態度を身につけさせるよう指導している。				9	56	44	0	0
	24	教育活動全体を通して、個に応じた指導を行っている。				9	56	44	0	0
	25	生徒自ら課題意識を持って取り組むことのできる内容を実践している。				9	11	89	0	0
VI 研究関係										
・共同研究 ・現職教育	26	目標・計画をよく理解し、組織の一員として取り組んでいる。				9	33	67	0	0
	27	定期的に研究目標を確認し、指導実践を行っている。				9	44	44	11	0
	28	研修に目的意識を持って参加し、自己を高めるために役立っている。				9	33	56	11	0
	29	計画的・組織的に授業研究等を行っている。				9	33	67	0	0

VII 支援関係													
・教育支援	30	生徒・保護者が興味・関心、適性に応じて進路選択ができるようにきめ細かい情報提供を行っている。	2	7	0	0	9	22	78	0	0		
	31	個別の教育支援計画に基づいて、支援会議やケース会議を行いながら適切な進路指導を行っている。	2	6	1	0	9	22	67	11	0		
・進路支援	32	生徒及び保護者の意向を大切にしながら、個に応じた職場開拓や職場実習を行っている。	4	5	0	0	9	44	56	0	0		
	33	職場定着・離職予防に向けて、関係機関と連携しながらアフターケアを行っている。	1	7	1	0	9	11	78	11	0		
・地域支援	34	教育相談において本校の特色に応じた情報提供を行い、地域のセンター的機能を果たしている。	1	6	2	0	9	11	67	22	0		
	35	在学中や卒業後の就業及び生活の支援体制を整備するために、地域の関係機関との連携を図っている。	0	8	1	0	9	0	89	11	0		
VIII 情報教育													
・情報モラル	36	情報モラルの指導が適切になされている。	3	6	0	0	9	33	67	0	0		
	37	情報機器の適切な管理及び活用を行っている。	5	4	0	0	9	56	44	0	0		
・情報セキュリティ													
・図書教育	38	学校図書を定期的に整理し有効に活用している。	0	6	2	1	9	0	67	22	11		
・ホームページ管理	39	ホームページの作成及び定期的な更新を行い、情報発信の基盤とする。	0	5	4	0	9	0	56	44	0		
IX 保健・給食指導													
・保健管理	40	生徒の実態に応じた保健指導について各部署や保護者と共通理解を図り指導している。	3	6	0	0	9	33	67	0	0		
	41	関係保健・医療機関との連携・協力体制をとって保健指導するよう努めている。	2	7	0	0	9	22	78	0	0		
	42	生徒の病気やけが等に対して適切な処置・対応をするよう努めている。	4	5	0	0	9	44	56	0	0		
・環境整備	43	生徒が安全に楽しく学習できる環境を整えている。	4	5	0	0	9	44	56	0	0		
	44	生徒の実態に応じた安心・安全な食に関する指導について共通理解を図っている。	2	7	0	0	9	22	78	0	0		
・食に関する指導													
	45	学校や組織の中で協力して体制を組み、食に関する指導に努めている。	0	7	2	0	9	0	78	22	0		
X 生徒指導													
・生徒指導	46	生徒指導は教員間で情報を共有し協力して行われている。	6	3	0	0	9	67	33	0	0		
	47	生徒の特性に応じた生徒指導を行っている。	2	5	2	0	9	22	56	22	0		
	48	いじめの対応(早期発見、初期対応、未然防止など)が適切に行われている。	5	4	0	0	9	56	44	0	0		
・安全指導	49	生徒が安全な学校生活を送れるように配慮した指導を行っている。	5	4	0	0	9	56	44	0	0		
・生徒会	50	円滑な生徒会運営ができています。	2	7	0	0	9	22	78	0	0		
・部活動	51	円滑な部活動運営が行われている。	2	7	0	0	9	22	78	0	0		

【考察】

A、Bを合計したパーセンテージ(肯定的な評価)で85%以上の結果となったのは、51項目中45項目であった。昨年度は46項目であった。
 一方、70%に満たないものは3項目あり、特に評価の低いものは昨年度同様に「同窓会活動への支援は活発に行われている」で44.4%であった。
 「ホームページの作成及び定期的な更新を行い、情報発信の基盤とする。」は昨年度の100%から55.6%と大幅に落ち込んだ。
 「個別の教育支援計画に基づいて、支援会議やケース会議を行いながら適切な進路指導を行っている。」は昨年度の66.7%から88.8%と改善が見られた。
 全体として、肯定的な評価が多くなっているものの「教育相談において本校の特色に応じた情報提供を行い、地域のセンター的機能を果たしている。」「図書を定期的に整理し有効に活用している。」「学校や組織の中で協力して体制を組み、食に関する指導に努めている。」「生徒の特性に応じた生徒指導を行っている。」に課題が残る結果になっている。
 同窓会との関わりや卒業生との交流の機会が少ないことも課題と考えられる。より本校同窓会や保護者との連携を図り、川崎キャンパスでも独自の行事を企画していく予定である。